



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 MRKホールディングス株式会社

コード番号 9980 URL <https://www.mrkholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 眞二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画部長 (氏名) 中 研悟 TEL 06-7655-5000

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,829	△10.0	△174	—	△137	—	△153	—
2020年3月期第1四半期	4,256	4.9	55	—	108	—	94	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △81百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 93百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△1.52	—
2020年3月期第1四半期	0.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	17,582	12,944	73.6
2020年3月期	17,625	13,127	74.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 12,944百万円 2020年3月期 13,127百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 当社は、定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、2021年3月期の配当については、現在のところ具体的な金額は未定であります。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに、公表させていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況であります。

連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表させていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	101,295,071株	2020年3月期	101,295,071株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	230株	2020年3月期	230株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	101,294,841株	2020年3月期1Q	101,294,976株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大に伴い、社会生活及び経済活動が大きく制限された影響により景気が落ち込みました。5月25日に緊急事態宣言が全面解除されたことで、経済活動の再開が徐々に進んでおりますが、未だ終息には至らず感染症拡大の第2波への警戒から、先行きが見通せない状況にあります。

このような環境の中、当社グループは中期経営方針『Maruko Avenir Project 2020』の最終年度を迎えるにあたり、補整下着の販売を中心とする既存事業の拡大に加え、美容コスメや健康関連商品、ならびにブライダル、ヘアサロン関連事業など新たな商品・サービスの拡充を推進しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が全国に発令されたことを受け、お客様と従業員の安全確保のため、全国の当社グループ店舗を12日間（4月25日～5月6日）、一斉に休業いたしました。

また、コロナ禍による各自治体からの自粛要請等により、宴席や挙式の延期やキャンセルが相次ぎ、ブライダル部門が伸び悩むなど厳しい状況が続きましたが、緊急事態宣言解除後の営業再開にあたり、補整下着販売事業ならびにヘアサロン関連事業においては、既存のお客様を中心にご来店を頂いたこと、及び、お客様に安心してご来店いただけるよう、早期より徹底していた新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の継続による、安心安全な店舗環境作りが奏功した結果、売上の減少は限定的となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高38億29百万円（前年同期比10.0%減）、営業損失1億74百万円（前年同期は55百万円の営業利益）、経常損失1億37百万円（前年同期は1億8百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億53百万円（前年同期は94百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績は次のとおりです。

[婦人下着及びその関連事業]

婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の販売及びコスメや健康食品などの美に関連する商品の販売が主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、ブライダルシリーズ『mon marier（モンマリエ）』にスポットカラーの「mon marier cherire blue（モンマリエシェリルブルー）」を発売すると共に、“隠す”から“魅せる”、新感覚ボディメイクランジェリー『Eclajou（エクラーージュ）』を発売するなど、新たな収益の柱となる商品を拡充いたしました。

上記に加え、5月下旬より再開したTVCM等のメディアプロモーションによる新規顧客の来店予約数が急速に回復し、6月単月としては新規のお客様の来店予約数が前年を大幅に上回る（前年同月比69.4%増）と共に、単月売上においても前年を上回りました。

以上の結果、売上高は33億7百万円（前年同期比4.1%減）、セグメント損失は1億5百万円（前年同期は26百万円のセグメント利益）となりました。

[マタニティ及びベビー関連事業]

マタニティ及びベビー関連事業においては、マタニティ及びベビー向けのアパレルや雑貨の販売が主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間においては、ギフトカタログ部門から完全に撤退したことにより、セグメント売上は減少したものの、巣ごもり消費の拡大に伴い、主力のマタニティ及びベビー部門のEC売上が堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は3億92百万円（前年同期比31.8%減）、セグメント損失は10百万円（前年同期は32百万円のセグメント利益）となりました。

〔その他〕

その他においては、MISEL株式会社のヘアサロン、ブライダル及びシェアリングサービスなど、『美の総合総社』実現に向けた新規事業の開発・育成の他、集客支援が主要事業であります。

ヘアサロン関連事業においては、直営店舗『FURUSHO (フルショウ)』及び、業務委託型店舗『Embellir (アンベリール)』を共に収益の柱として育成を進めました。

また、ブライダル関連事業においては、『SUBIR AKASAKA TOKYO (赤坂シュビア)』及び『Angelina Sweet (アンジェリーナ・スイート)』における主力のウェディングの他、法人向け宴席の営業強化により、施設稼働率の向上に向けた体制構築を推進し、新たな収益の柱としての育成に取り組みました。

さらに、当社グループの中核となる補整下着販売事業との連携強化に取り組みました。

しかしながら、コロナ禍による休業や自粛要請の影響により、ブライダル・宴会関連事業は減収となりました。

以上の結果、売上高は1億28百万円（前年同期比44.3%減）、セグメント損失は58百万円（前年同期は3百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は119億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加及び売掛金の減少の結果によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は56億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円減少いたしました。これは主に、無形固定資産の減少の結果によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は40億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億42百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金の増加及び未払法人税等の減少の結果によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は5億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2百万円減少いたしました。これは主に、退職給付に係る負債の減少の結果によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は129億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億82百万円減少いたしました。これは主に、剰余金の配当による利益剰余金の減少の結果によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染者数が7月より再び増加に転じたことで、「第2波」の発生懸念等によりブライダルの予約が延期になるなど、未確定要素が多く存在することから引き続き「未定」としております。

今後、適正かつ合理的な業績予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

また、上記の通り2021年3月期業績予想を「未定」とすることから、配当予想につきましても「未定」とし、業績予想の算定ができ次第速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,912,831	5,566,314
売掛金	4,222,377	3,276,262
商品	1,924,515	1,838,080
原材料及び貯蔵品	292,378	282,996
その他	644,111	1,044,406
貸倒引当金	△62,089	△69,468
流動資産合計	11,934,124	11,938,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,838,526	1,856,813
その他(純額)	1,759,445	1,701,518
有形固定資産合計	3,597,971	3,558,331
無形固定資産		
投資その他の資産	535,199	495,269
投資その他の資産	1,557,869	1,590,575
固定資産合計	5,691,040	5,644,177
資産合計	17,625,165	17,582,769
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	812,743	712,472
短期借入金	—	1,300,000
未払法人税等	395,506	39,664
賞与引当金	186,760	48,322
返品調整引当金	11,000	8,000
ポイント引当金	190,000	215,000
株主優待引当金	296,446	290,789
資産除去債務	18,551	26,327
その他	1,909,482	1,422,775
流動負債合計	3,820,490	4,063,351
固定負債		
長期借入金	2,086	1,565
退職給付に係る負債	116,060	24,601
資産除去債務	391,956	392,013
その他	166,715	156,254
固定負債合計	676,819	574,434
負債合計	4,497,309	4,637,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,491,360	6,491,360
資本剰余金	6,473,978	6,473,978
利益剰余金	347,451	92,573
自己株式	△53	△53
株主資本合計	13,312,736	13,057,858
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,834	7,305
退職給付に係る調整累計額	△191,715	△120,179
その他の包括利益累計額合計	△184,880	△112,874
純資産合計	13,127,855	12,944,983
負債純資産合計	17,625,165	17,582,769

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,256,699	3,829,068
売上原価	971,434	946,670
売上総利益	3,285,264	2,882,397
返品調整引当金戻入額	11,000	11,000
返品調整引当金繰入額	8,000	8,000
差引売上総利益	3,288,264	2,885,397
販売費及び一般管理費	3,232,973	3,060,081
営業利益又は営業損失(△)	55,291	△174,684
営業外収益		
受取利息	4	531
受取手数料	45,046	36,893
その他	9,013	4,692
営業外収益合計	54,063	42,117
営業外費用		
支払利息	43	743
為替差損	—	1,622
租税公課	—	1,287
その他	699	908
営業外費用合計	742	4,562
経常利益又は経常損失(△)	108,612	△137,129
特別損失		
減損損失	1,590	291
新型コロナウイルス感染症による損失	—	92,006
その他	648	1,307
特別損失合計	2,238	93,605
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	106,373	△230,734
法人税、住民税及び事業税	15,201	△13,152
法人税等調整額	△3,552	△63,998
法人税等合計	11,648	△77,151
四半期純利益又は四半期純損失(△)	94,724	△153,583
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	94,724	△153,583

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	94,724	△153,583
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△109	470
退職給付に係る調整額	△1,321	71,535
その他の包括利益合計	△1,430	72,005
四半期包括利益	93,293	△81,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,293	△81,577
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,449,997	575,354	4,025,351	231,347	4,256,699	-	4,256,699
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	12,907	12,907	7,640	20,548	△20,548	-
計	3,449,997	588,262	4,038,259	238,988	4,277,247	△20,548	4,256,699
セグメント利益 又は損失(△)	26,277	32,507	58,784	△3,176	55,608	△317	55,291

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、集客支援、シェアリングサービス、ブライダル及びヘアサロン等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△317千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,307,914	392,342	3,700,257	128,810	3,829,068	-	3,829,068
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	450	6,420	6,870	4,960	11,830	△11,830	-
計	3,308,364	398,762	3,707,127	133,770	3,840,898	△11,830	3,829,068
セグメント損失 (△)	△105,656	△10,824	△116,480	△58,250	△174,730	46	△174,684

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、集客支援、シェアリングサービス、ブライダル及びヘアサロン等の事業を含んでおります。

2. セグメント損失(△)の調整額46千円には、セグメント間取引消去△161千円、減価償却の調整額208千円が含まれております。

3. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。